

# 高木仁三郎市民科学基金 2020年度決算概況

## ■ 収支計算書

2020/4/1～ 2021/3/31

(単位:円)

【収入】			【支出】			
収入	予算	決算	支出	予算	決算	支出構成
会費収入	6,000,000	<b>4,762,000</b>	助成金・委託研究費	12,500,000	<b>2,523,500</b>	34.0% 48.5%
寄付収入	20,000,000	<b>17,347,287</b>	助成関係事業費	10,000,000	<b>8,792,520</b>	23.8% 34.0%
遺贈	0	<b>0</b>	内 人件費	8,000,000	<b>7,352,787</b>	19.9% 28.5%
原子力市民委員会指定寄付	4,000,000	<b>9,790,400</b>	広報・普及事業費	2,500,000	<b>2,367,662</b>	6.4% 9.2%
<b>支援合計</b>	<b>30,000,000</b>	<b>31,899,687</b>	管理費	7,400,000	<b>2,154,055</b>	5.8% 8.3%
書籍販売収入	1,200,000	<b>125,420</b>	内 人件費	4,400,000	<b>3,737,649</b>	10.1% 14.5%
運用収入・雑収入	300,000	<b>227,884</b>	原子力市民委員会事業費	11,217,000	<b>11,045,046</b>	29.9% 100%
助成金収入	0	<b>759,000</b>	内 人件費	6,200,000	<b>5,696,464</b>	15.4% 51.6%
<b>経常収入計</b>	<b>31,500,000</b>	<b>33,011,991</b>	<b>経常支出計</b>	<b>43,617,000</b>	<b>26,882,783</b>	
			<b>経常収支</b>	<b>-12,117,000</b>	<b>6,129,208</b>	
原子力市民委員会引当金取崩額	6,017,000	<b>1,119,226</b>	原子力市民委員会引当金繰入支出	0	<b>0</b>	
特別助成事業引当金取崩額	0	<b>0</b>	特別助成事業引当金繰入支出	0	<b>10,000,000</b>	
<b>収入合計</b>	<b>37,517,000</b>	<b>34,131,217</b>	<b>支出合計</b>	<b>43,617,000</b>	<b>36,882,783</b>	
			<b>当期収支差額</b>	<b>-6,100,000</b>	<b>-2,751,566</b>	

## ■ 貸借対照表

基準日 2021/3/31

(単位:円)

【資産】			【負債】		
流動資産	期初	期末	流動負債	期初	期末
現金	60,974	<b>194,281</b>	未払助成金	9,950,124	<b>1,876,902</b>
普通預金/三菱UFJ	1,121,638	<b>14,786,079</b>	未払金・仮受金	276,960	<b>1,279,850</b>
普通預金/三菱基金口	20,146,211	<b>11,146,329</b>	源泉税等預り金	195,934	<b>105,379</b>
普通預金/りそな	125,902	<b>125,902</b>	事業引当金	10,423,018	<b>3,262,131</b>
郵便振替	298,732	<b>1,179,100</b>	長期事業引当金	12,616,802	<b>11,497,576</b>
郵便振替2	2,797,161	<b>1,380,851</b>	特別助成事業引当金	0	<b>10,000,000</b>
郵便振替3	135,540	<b>272,919</b>	<b>負債合計</b>	<b>23,039,820</b>	<b>24,759,707</b>
城南信金	12,905,433	<b>7,904,908</b>			
PayPay銀行	2,261,593	<b>1,495,668</b>			
楽天銀行	0	<b>8,648</b>			
書籍在庫	4,068,886	<b>4,383,269</b>			
出資金	10,000	<b>10,000</b>			
未収入金・仮払金	7,069	<b>19,506</b>			
<b>資産合計</b>	<b>43,939,139</b>	<b>42,907,460</b>			

## ■ 支援者数

基準日 2021/3/31

支援者数(人)	昨年度	今年度
会員	445人	<b>431人</b>
寄付者	337人	<b>431人</b>
<b>支援者数合計</b>	<b>792人</b>	<b>862人</b>

## ■ 設立時からの累計

2000-20年度

(単位:円)

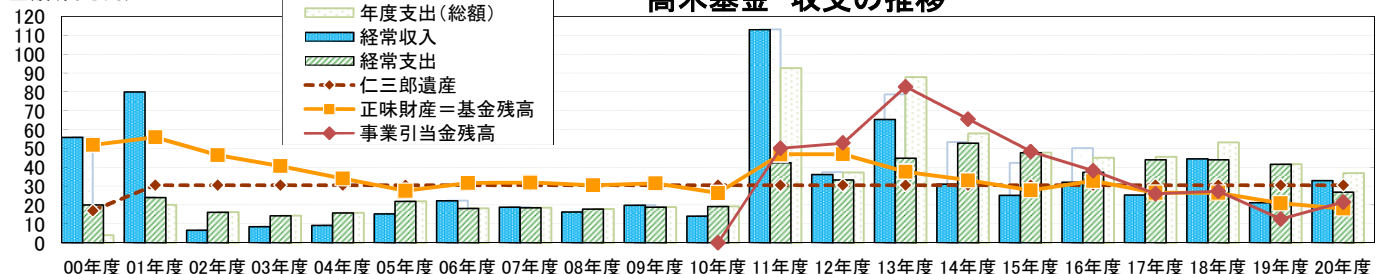
収入	<b>748,735,145</b>	
内 会費・寄付・市民研究サポート	<b>577,667,945</b>	18.9倍
内 高木仁三郎遺産	<b>30,483,833</b>	
内 受取利息・雑収入など	<b>31,786,985</b>	
内 事業引当金取崩収入	<b>108,796,382</b>	
支出	<b>730,587,392</b>	支出構成
内 助成金・委託研究費	<b>237,165,290</b>	47.6%
内 助成関係費・広報・普及活動費	<b>142,212,853</b>	28.6%
内 管理費	<b>118,718,071</b>	23.8%
内 原子力市民委員会事業費	<b>102,197,220</b>	
内 事業引当金繰入支出	<b>130,293,958</b>	
基金残高	<b>18,147,753</b>	

## ■ 設立時からの助成実績

2000-20年度

	件数	助成金額(円)
国内向け助成	336件	<b>184,296,000</b>
アジア向け助成	76件	<b>33,837,136</b>
<b>助成金合計</b>	<b>412件</b>	<b>218,133,136</b>
委託研究費	11件	<b>19,032,154</b>
<b>助成金・委託研究費合計</b>	<b>423件</b>	<b>237,165,290</b>

金額(百万円)



## 高木仁三郎市民科学基金 2020年度 助成金・委託研究費明細（兼 未払助成金明細）

金額単位：円

受付番号	テーマ	助成申込者名 または代表者名	グループ名	助成金額	2021年3月末 引当金残高	備考
<b>【国内枠 調査研究（一般）】</b>				<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>6,000,000</b>
	第20期国内枠助成についての2020年秋の募集は実施せず、2021年4月に延期したため、当初予算額を特別助成事業引当金に繰入れた。				<b>6,000,000</b>	
<b>【国内枠 調査研究（継続）】</b>				<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>3,000,000</b>
	同 上				<b>3,000,000</b>	
<b>【国内枠 若手研究支援】</b>				<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>1,000,000</b>
	同 上				<b>1,000,000</b>	
<b>【アジアの個人・グループへの調査研究助成】</b>				<b>小計</b>	<b>2,023,500</b> <b>(19,000USD)</b>	<b>905,250</b> <b>(8,500USD)</b>
203-008	インドネシア・エネルギー転換のガバナンス— 反原発運動から代替エネルギー開発への方針転換	Pratama Yudha Pradheksa (インドネシア)		<b>5,000USD</b> <b>532,500円</b>	<b>2,500USD</b> <b>266,250円</b>	
203-009	環境政策に対する異論や市民参加の排除：インドの新しい環境適合性認可体制と新しい市民層の育成	Sonali Hura (インド)		<b>5,000USD</b> <b>532,500円</b>	<b>2,500USD</b> <b>266,250円</b>	
203-013	公衆衛生調査と市民科学によるインド北東部でのウラン採掘による影響調査		Ka Mei-Ramew Project (インド)	<b>5,000USD</b> <b>532,500円</b>	<b>1,500USD</b> <b>159,750円</b>	
203-019	「原発の犠牲者としてその声を社会に発信すること— 韓国での「均道（キュンド）一家」のケースを事例に	Kim, Woo-Chang (韓国)		<b>4,000USD</b> <b>426,000円</b>	<b>2,000USD</b> <b>213,000円</b>	
<b>【アジアの個人への研修奨励】</b>				<b>小計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
	該当なし					

1USD=106.500円（助成募集開始時(2020年8月17日)の為替レートで換算）

<b>助成金合計</b>	<b>2,023,500</b>	<b>905,250</b>
--------------	------------------	----------------

金額単位：円

受付番号	テーマ	助成申込者名 または代表者名	グループ名	委託研究費	2021年3月末 未払助成金	備考
<b>【委託研究費】</b>				<b>小計</b>	<b>500,000</b>	<b>500,000</b>
199-001	福島第一原子力発電所の事故原因と推移過程の詳細検討	田中 三彦	もっかい事故調	<b>500,000</b>	<b>500,000</b>	
<b>委託研究費合計</b>				<b>500,000</b>	<b>500,000</b>	

<b>【過年度分の未払い助成金の明細】</b>				助成金額	2021年3月末 未払助成金	
196-005	諫早湾調整池から有明海に排出されたアオコ毒マイクロシスチンの残留、分解と水生生物への蓄積	高橋 徹	諫早湾調整池アオコ毒素研究チーム	<b>500,000</b>	<b>250,000</b>	
183-026	フィリピンにおける、地域の若者会議によるマングローブ林の監視と再生事業	Glenn Fernandez (フィリピン)		<b>4,000USD</b> <b>443,304円</b>	<b>2,000USD</b> <b>221,652円</b>	

# 2020年度 事業報告書

( 2020年4月1日から2021年3月31日まで )

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

## 1 事業の成果

### ○事業概要

第18期国内枠助成先(2019年度実施分)の調査研究の成果発表会を実施した。  
 第19期国内枠およびアジア枠助成先(2020年度実施分)については、その調査研究活動の支援を行った。  
 第20期アジア枠助成の公募・選考を行い、4件、計202万円の助成先を決定した。  
 第20期国内枠助成については、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、募集を2021年4月以降に延期した。  
 委託研究として1件50万円の支援を決定した。  
 2013年度に高木基金の特別事業として立ち上げた原子力市民委員会では、引きつづき2014年4月に発表した『原発ゼロ社会の道』および、2017年12月に発表した『原発ゼロ社会への道 2017』の普及に努めた。  
 これらの活動を「高木基金だより」とウェブサイト、SNSなどを通じて報告するとともに、研究の成果や市民科学のあり方などについての広報・普及活動を行った。

### ○事業経過

2020年 4月20日 高木基金だより No. 51 発行 <約3,800通>  
 2020年 7月11日/12日 第18期助成の成果発表会を開催 <東京・YMCAアジア青少年センター国際ホール>  
 2020年 9月15日 助成募集(アジア枠調査研究・研修奨励) 〆切  
 2020年10月 5日 高木基金だより No. 52 発行 <約3,800通>  
 2021年 2月15日 高木基金だより NO. 53 発行 <約3,800通>

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者	受益対象者の範囲及び人数	支出額	
(1) 市民の科学を目指す日本国内及びアジアの個人・グループの研究・研修への助成	国内の個人・グループへの調査研究助成	通年	主に国内	(1)-(3)あわせて5名	主に国内の個人・グループ	1団体	市民科学をめざす個人・グループへの調査研究助成金	500,000円
	アジアの個人・グループへの調査研究助成	通年	主にアジア		アジアの個人・グループ	4団体・個人	市民科学をめざすアジアの個人・グループへの調査研究助成金	2,023,500円
	募集告知、助成先選考、助成研究・研修の成果発表	通年	主に国内		国内及びアジア	応募数 59件(個人・団体)	人件費、旅費交通費・謝礼他	8,792,520円
(2) 市民科学の理念及び研究成果の普及	支援者及び一般への研究成果の普及・活動状況等の広報としての「高木基金だより」の発行	NO. 51 2020/ 4/30 NO. 52 2020/10/ 5 NO. 53 2021/ 2/15	国内		高木基金の支援者及び一般	3,800名(発行部数)	印刷費・通信費	2,367,662円
(3) 市民科学を目指す実践的な活動への助成	原子力市民委員会事業	通年	主に国内		一般	(広く社会一般に研究成果が還元される)	原子力市民委員会事業費	6,976,160円
(4) 自然エネルギー利用および省エネルギーの研究および普及活動への助成	今年度は実施せず							

## 2020年度 活動計算書

2020年 4月 1日 から 2021年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
<b>I 経常収益</b>			
1 受取会費			
正会員受取会費	340,000		340,000
維持会員受取会費	3,570,000		3,570,000
賛助会員受取会費	852,000		852,000
2 受取寄附金			
寄付金（事業指定寄付・遺贈寄付を除く）	17,347,287		17,347,287
事業指定寄付	9,790,400		9,790,400
遺贈寄付	0		0
3 受取助成金等			
受取助成金	759,000		759,000
4 事業収益			
事業収益	125,420		125,420
5 その他収益			
受取利息			0
雑収入	227,884		227,884
引当金取崩収入	1,119,226		1,119,226
経常収益計	34,131,217		34,131,217
<b>II 経常費用</b>			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	11,626,350		11,626,350
法定福利費	1,329,327		1,329,327
福利厚生費	93,574		93,574
人件費計	13,049,251		13,049,251
(2) その他経費			
助成金・委託研究費	2,523,500		2,523,500
印刷費	1,310,880		1,310,880
書籍仕入れ	0		0
消耗品費	312,956		312,956
旅費交通費	294,583		294,583
通信運搬費	1,387,797		1,387,797
支払手数料	411,422		411,422
会議費	223,060		223,060
新聞図書費	56,923		56,923
謝礼	20,000		20,000
業務委託費	999,470		999,470
事業引当金繰入支出	10,000,000		10,000,000
その他経費計	17,540,591		17,540,591
事業費計	30,589,842		30,589,842
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	3,409,287		3,409,287
法定福利費	306,767		306,767
福利厚生費	21,595		21,595
人件費計	3,737,649		3,737,649
(2) その他経費			
印刷費	59,950		59,950
消耗品費	184,916		184,916
賃借料	264,048		264,048
修繕費	23,430		23,430
交際費	1,650		1,650
旅費交通費	65,974		65,974
通信運搬費	293,127		293,127
支払手数料	119,901		119,901
会議費	39,079		39,079
諸会費	23,200		23,200
業務委託費	477,400		477,400
支払家賃	1,223,040		1,223,040
租税公課	2,700		2,700
雑費	21,260		21,260
貯蔵品棚卸高増減額	-314,383		-314,383
その他経費計	2,485,292		2,485,292
管理費計	6,222,941		6,222,941
経常費用計	36,812,783		36,812,783
当期経常増減額	-2,681,566		-2,681,566
税引前当期正味財産増減額	-2,681,566		-2,681,566
法人税、住民税及び事業税	70,000		70,000
当期正味財産増減額	-2,751,566		-2,751,566
前期繰越正味財産額	20,899,319		20,899,319
次期繰越正味財産額	18,147,753		18,147,753

## 高木仁三郎市民科学基金 事業別損益の状況

2020年度（2020年4月1日から2021年3月31日）

（単位：円）

科目	助成事業	助成事業の内 特別助成事業	助成事業の内 特別助成事業以外	CCNE事業	CCNE事業の内 書籍事業	CCNE事業の内 書籍事業以外	普及事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益										
1. 受取会費	4,762,000		4,762,000	0	0	0	0	4,762,000	0	4,762,000
2. 受取寄附金	16,604,247		16,604,247	9,790,400	0	9,790,400	0	26,394,647	743,040	27,137,687
3. 受取助成金等			0	0	0	0	0	0	759,000	759,000
4. 事業収益			0	125,420	125,420	0	0	125,420	0	125,420
5. その他収益	51,000		51,000	10,000	0	10,000	0	61,000	166,884	227,884
6. 引当金取崩収入			0	1,119,226	0	1,119,226	0	1,119,226	0	1,119,226
事業部門間調整	0				0		0	0		0
経常収益計	21,417,247	0	21,417,247	11,045,046	125,420	10,919,626	0	32,462,293	1,668,924	34,131,217
II 経常費用										
(1) 人件費										
給料手当	6,411,483		6,411,483	5,214,867	136,458	5,078,409		11,626,350	3,409,287	15,035,637
法定福利費	879,401		879,401	449,926		449,926		1,329,327	306,767	1,636,094
福利厚生費	61,903		61,903	31,671		31,671		93,574	21,595	115,169
人件費計	7,352,787		7,352,787	5,696,464	136,458	5,560,006	0	13,049,251	3,737,649	16,786,900
(2) その他経費										
876 助成金・委託研究費	2,523,500	0	2,523,500	0	0	0	0	2,523,500	0	2,523,500
838 印刷費	0	0	0	359,886	359,886	0	950,994	1,310,880	59,950	1,370,830
840 書籍仕入れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
854 消耗品費	100,954	0	100,954	166,799	0	166,799	45,203	312,956	184,916	497,872
855 賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	264,048	264,048
857 修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	23,430	23,430
861 交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	1,650	1,650
862 旅費交通費	128,753	0	128,753	165,830	0	165,830	0	294,583	65,974	360,557
863 通信運搬費	102,957	0	102,957	45,355	15,764	29,591	1,239,485	1,387,797	293,127	1,680,924
864 支払手数料	140,316	0	140,316	269,126	266,563	2,563	1,980	411,422	119,901	531,323
865 会議費	223,060	0	223,060	0	0	0	0	223,060	39,079	262,139
866 諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	23,200	23,200
868 新聞図書費	56,923	0	56,923	0	0	0	0	56,923	0	56,923
875 謝礼	0	0	0	20,000	0	20,000	0	20,000	0	20,000
886 業務委託費	686,770	0	686,770	182,700	182,700	0	130,000	999,470	477,400	1,476,870
888 支払家賃	0	0	0	0	0	0	0	0	1,223,040	1,223,040
890 雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	21,260	21,260
水道光熱費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	70,000	70,000	0	0	70,000	2,700	72,700
為替変動調整費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業引当金繰入支出	10,000,000	0	10,000,000	0	0	0	0	10,000,000	0	10,000,000
その他経費計	13,963,233	0	13,963,233	1,279,696	894,913	384,783	2,367,662	17,610,591	2,799,675	20,410,266
641 期首書籍棚卸高				4,068,886	4,068,886			4,068,886		4,068,886
659 期末書籍棚卸高				0				0	4,383,269	4,383,269
経常費用計	21,316,020	0	21,316,020	11,045,046	5,100,257	5,944,789	2,367,662	34,728,728	2,154,055	36,882,783
当期経常増減額	101,227	0	101,227	0	-4,974,837	4,974,837	-2,367,662	-2,266,435	-485,131	-2,751,566

原子力市民委員会の収支概況 (設立から2020年度実績+2021-22年度計画)

項 目		金額(千円)
収 入	設立時の大口寄付	50,000
	高木基金からの繰入金	19,663
	原子力市民委員会収入	
	2013年度	5,548
	2014年度	9,363
	2015年度	5,042
	2016年度	4,271
	2017年度	5,459
	2018年度	5,327
	2019年度	4,288
	2020年度(予算)	5,200
	2020年度(決算)	9,926
	2021年度(予算)	4,500
	2022年度(試算)	4,000
収 入 累 計 (2013-22年度)		57,724
支 出	原子力委員会事業費	
	2012年度	1,148
	2013年度	13,766
	2014年度	19,656
	2015年度	14,372
	2016年度	9,967
	2017年度	14,474
	2018年度	13,008
	2019年度	10,961
	2020年度(予算)	11,217
2020年度(決算)	6,976	
2021年度(予算)	10,998	
2022年度(試算)	9,000	
支 出 累 計 (2013-22年度)		124,325
繰越収支残高		3,062

収入・支出の内訳						合 計
指定寄付	内 一般	内 大口寄付	書籍販売	印税	雑収入	
5,018	2,518	2,500			530	5,548
5,398	1,398	4,000	2,837	994	134	9,363
4,026	1,026	3,000	926		90	5,042
3,837	837	3,000	385		50	4,271
4,010	1,010	3,000	1,437		12	5,459
4,336	1,336	3,000	759		231	5,327
3,903	903	3,000	262		123	4,288
4,000	1,000	3,000	1,200		0	5,200
9,790	790	9,000	125		10	9,926
3,000	1,000	2,000	1,500		0	4,500
3,000	1,000	2,000	1,000		0	4,000

人件費 *1	旅費交通費	会議費	書籍販売 *2	その他事業費	合 計
229	884	19	0	16	1,148
2,806	6,819	1,889	1,695	556	13,766
6,373	5,360	377	6,011	1,535	19,656
5,208	4,338	295	2,383	2,148	14,372
3,205	3,392	459	2,435	475	9,967
5,618	2,468	246	5,370	772	14,474
6,418	3,769	372	1,632	816	13,008
5,875	2,317	153	2,073	543	10,961
6,000	2,000	100	2,500	617	11,217
5,696	166	0	895	219	6,976
5,800	500	200	2,500	1,998	10,998
5,800	500	200	1,500	1,000	9,000

\*1 書籍販売に関わる人件費は含まない

\*2 書籍販売に関わる人件費および発送などに関わる費用を含む



## 2020年度（特定非営利活動に係る事業）財産目録

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目		金 額 （単位：円）	
<b>I 資産の部</b>			
1	流動資産	現金	194,281
		普通預金 三菱UFJ	4,786,079
		※ 口座残高 14,786,079円から引当資産差引後	
		三菱UFJ（基金口）	7,553,661
		※ 口座残高 11,146,329円から引当資産差引後	
		城南信用金庫	0
		※ 口座残高 2,904,908円から引当資産差引後	
		りそな銀行	125,902
		paypay銀行 円普通預金	333,305
		paypay銀行 USD普通預金	8
		※ USD 0.08 × 110.70円（3/31の終値）	
		paypay銀行 USD定期預金	1,162,355
		※ USD 10,500.05 × 110.70円（3/31の終値）	
		楽天銀行	8,648
	郵便振替	00140-6-603393	1,179,100
		00160-4-758972	1,380,851
		00170-0-695728	272,919
		貯蔵品 販売用書籍	4,383,269
		未収入金 古本募金 未入金分 3件	8,136
		出資金 職員共済組合出資金	10,000
	流動資産合計		21,409,884
2	固定資産	原子力市民委員会事業引当資産	
		普通預金 三菱UFJ（基金口）	3,592,668
		普通預金 城南信用金庫	2,904,908
		定期預金 城南信用金庫	5,000,000
		特別助成事業引当資産	
		普通預金 三菱UFJ	10,000,000
	固定資産合計		21,497,576
	資産合計		42,907,460
<b>II 負債の部</b>			
1	流動負債	未払金 第20期 委託研究費 未払分	500,000
		第20期 アジア枠助成金 未払分	905,250
		過年度助成金 未払分	471,652
		未払法人住民税	70,000
		選考委員・アドバイザー-謝礼	560,000
		事務所費負担分	600,000
	預り金	ライオンリフト賞実行委委員会会計	49,850
		源泉所得税・住民税	105,379
	流動負債合計		3,262,131
2	固定負債	なし	
	固定負債合計		0
	負債合計		3,262,131
<b>III 正味財産の部</b>			
		正味財産	18,147,753
		長期事業引当金	11,497,576
		特別助成事業引当金	10,000,000
			39,645,329
正味財産及び負債の合計			42,907,460



2020年度（特定非営利活動に係る事業）貸借対照表

2020年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目		金 額（単位：円）	
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産	現金	194,281	
	普通預金 三菱UFJ	4,786,079	
	※ 口座残高 14,786,079円から引当資産差引後		
	三菱UFJ（基金口）	7,553,661	
	※ 口座残高 11,146,329円から引当資産差引後		
	城南信用金庫	0	
	※ 口座残高 2,904,908円から引当資産差引後		
	りそな銀行	125,902	
	paypay銀行 円普通預金	333,305	
	paypay銀行 USD普通預金	8	
	※ USD 0.08 × 110.70円（3/31の終値）		
	paypay銀行 USD定期預金	1,162,355	
	※ USD 10,500.05 × 110.70円（3/31の終値）		
	楽天銀行	8,648	
	郵便振替 00140-6-603393	1,179,100	
	00160-4-758972	1,380,851	
	00170-0-695728	272,919	
	貯蔵品 販売用書籍	4,383,269	
	未収入金 古本募金 未入金分 3件	8,136	
	仮払金 講師源泉所得税	11,370	
	出資金 職員共済組合出資金	10,000	
	流動資産合計		21,409,884
2 固定資産	原子力市民委員会事業引当資産		
	普通預金 三菱UFJ（基金口）	3,592,668	
	普通預金 城南信用金庫	2,904,908	
	定期預金 城南信用金庫	5,000,000	
	特別助成事業引当資産		
	普通預金 三菱UFJ	10,000,000	
	固定資産合計		21,497,576
	資産合計		42,907,460
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債	未払金 第20期 委託研究費 未払分	500,000	
	第20期 アジア枠助成金 未払分	905,250	
	過年度助成金 未払分	471,652	
	未払法人住民税	70,000	
	選考委員・アドバイザー-謝礼	560,000	
	事務所費負担分	600,000	
	預り金 ライトライブリフト賞イベント実行委委員会会計	49,850	
	源泉所得税・住民税	105,379	
	流動負債合計		3,262,131
2 固定負債	なし		
	固定負債合計		0
	負債合計		3,262,131
<b>III 正味財産の部</b>			
	前期正味財産	20,899,319	
	当期正味財産増減額	-2,751,566	
	長期事業引当金	11,497,576	
	特別助成事業引当金	10,000,000	
	正味財産合計		39,645,329
	正味財産及び負債の合計		42,907,460

## 2020年度（その他の事業）財産目録

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目	金 額 (単位：円)	
<b>I 資産の部</b>		
資産	0	
資産合計		0
<b>II 負債の部</b>		
負債	0	
負債合計		0
<b>III 正味財産の部</b>		
正味財産		0
正味財産及び負債の合計		0

## 2020年度（その他の事業）貸借対照表

2021年3月31日現在

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

科 目	金 額 (単位：円)	
<b>I 資産の部</b>		
資産	0	
資産合計		0
<b>II 負債の部</b>		
負債	0	
負債合計		0
<b>III 正味財産の部</b>		
前記繰越正味財産	0	
当期正味財産増減額	0	
正味財産		0
正味財産及び負債の合計		0

2021年 5月 19日

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金  
代表理事 河合 弘之 様  
代表理事 高木 久仁子 様

## 会 計 監 査 報 告 書 (写)

当法人の2020年度（2020年4月1日から2021年3月31日）の会計について、  
財産目録、貸借対照表、活動計算書、総勘定元帳等を精査した結果、適正な  
ものであることを認めます。

特定非営利活動法人 高木仁三郎市民科学基金

監事 中 下 裕 子

監事 濱 口 博 史

# 高木基金 2015～2020年度決算および2021年度予算

金額単位:千円

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度		2020年度			2021年度	
					予算	決算	予算	決算	予算対比	予算	
収入	会費収入	4,533	6,004	5,709	5,271	6,200	4,930	6,000	4,762	△ 1,238	5,500
	寄付収入	17,496	20,928	14,019	8,902	22,400	10,332	20,000	17,347	△ 2,653	14,500
	遺贈		0	0	26,000	0	0	0	0	0	0
	事業指定寄付		3,837	4,010	4,336	4,000	3,903	4,000	9,790	5,790	3,000
	会費・寄付 小計	22,029	30,769	23,738	44,509	32,600	19,164	30,000	31,900	1,900	23,000
	内 一般の会費・寄付	10,029	10,240	8,895	9,266	11,600	7,901	11,000	10,650	△ 350	11,000
	内 大口の寄付 *	12,000	20,529	14,843	9,243	21,000	11,263	19,000	21,250	2,250	12,000
	書籍販売事業収入	926	385	1,426	709	2,000	262	1,200	125	△ 1,075	1,000
	助成金収入						1,500	0	759	759	
	利息・雑収入など	2,166	1,034	254	470	250	301	300	228	△ 72	200
	経常収入計	25,121	32,187	25,418	45,688	34,850	21,228	31,500	33,012	1,512	24,200
	原子力市民委員会事業引当金取崩し	8,252	8,900	10,480	7,681	5,884	5,667	6,017	1,119	△ 4,898	6,498
	特別助成事業引当金取崩し	9,000	9,000	3,150	0	9,000	9,000	0	0	0	10,000
収入合計	42,373	50,087	39,048	53,368	49,734	35,895	37,517	34,131	△ 3,386	40,698	
支出	助成金	14,200	10,692	10,860	10,645	12,000	10,616	12,000	2,024	△ 9,977	12,000
	委託研究費			1,530		1,000	1,000	500	500	0	500
	助成関係費（国内）	2,419	2,417	2,635	2,366	2,800	1,841	1,800	1,440	△ 560	1,500
	助成関係費（アジア）	347	271	328	322	300	268	200			
	助成事業人件費	7,548	6,847	7,470	7,687	7,500	8,201	8,000	7,353	△ 647	7,000
	広報・普及事業費	3,431	1,941	1,842	2,440	2,500	2,236	2,500	2,368	△ 132	2,000
	管理費	6,462	6,601	6,828	7,615	7,500	7,564	7,400	6,537	△ 863	6,400
	内 人件費	3,800	3,383	4,004	4,896	4,500	4,407	4,400	3,738	△ 662	3,800
	原子力市民委員会事業費	13,295	8,591	12,508	13,008	12,084	9,955	11,217	6,662	△ 4,555	10,998
	内 人件費		3,175	5,912	6,448	6,150	6,165	6,200	5,696	△ 504	5,800
	経常支出計	47,702	37,361	44,001	44,082	45,684	41,682	43,617	26,883	△ 16,734	40,398
	内 人件費合計	11,348	13,405	17,385	19,031	18,150	18,773	18,600	16,787	△ 1,813	16,600
	原子力市民委員会事業引当金繰入	0	4,580	1,465	0	0	0	0	0	0	
特別助成事業引当金繰入		3,150	0	9,000	0	0	0	10,000	10,000	0	
支出合計	47,702	45,091	45,465	53,082	45,684	41,682	43,617	36,883	△ 6,734	40,398	
収支差額	-5,328	4,996	△ 6,418	286	4,050	△ 5,787	△ 6,100	△ 2,752	3,348	300	
年度末正味財産（基金残高）		32,818	26,400	26,686	30,736	20,899	14,799	18,148		18,448	

\* 分析の目安として、50万円以上のご寄付を「大口」として集計しています。

原子力市民委員会事業引当預金残高	39,300	34,980	25,965	18,284		12,617	6,600	11,498		5,000
特別助成事業引当預金残高	9,000	3,150	0	9,000		0	0	10,000		0

## 1. 2020 年度事業報告および決算報告

## (1) 国内枠助成 (詳細は p.2 を参照)

- ・2020 年度は、第 20 期(2021 年度)の助成を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、社会全体が行動の制約を余儀なくされている状況にあることから、従来同様の募集時期 (11~12 月) の段階で、2021 年 4 月以降の調査研究計画を立案し、助成応募をすることは、助成応募者にとっても困難があると考え、助成募集の時期を 4 月以降に延期することとした。このため、2020 年度内には、新規の助成募集を行わなかった。
- ・なお、2020 年度の助成金支出予算は、2021 年度に助成募集を行い、助成先を決定するための資金として、特別助成事業引当金への繰入支出として計上した。

## 【2020 年度の国内枠助成の募集・助成結果】

募集	国内向け調査研究助成 (「一般」「継続」「若手研究支援」) 2020 年 11 月から募集を行う計画だったが、2021 年 4 月以降に延期した。	
応募	(2021 年 4 月以降に延期)	
選考	(2021 年 4 月以降に延期)	
助成決定	(2020 年度内の助成決定なし)	累 計
	国内向け調査研究助成	300 件 16,672 万円
	国内向け研修奨励	36 件 1,758 万円
	合計	336 件 18,430 万円

- ・第 18 期 (2019 年度) 助成先の助成期間が 2020 年 3 月で終了し、調査研究成果のとりまとめを行った。新型コロナウイルスの感染が広がりつつある時期だったが、感染対策を講じた上で、東京都内にてオンライン参加を併用するかたちで 2 日間の成果発表会を開催した。このようなオンラインでの成果発表会は、初めての取り組みであり、音声配信等、運営面でスムーズにいかないこともあったが、遠方の助成先がオンラインで参加して発表を行い、高木基金の役員や支援者、一般の参加者も、会場に足を運ばずに、感染リスクを抑えながら議論に参加することが可能となり、取り組みの意義は大きかった。  
7 月 11 日 (土)・12 日 (日) YMCA アジア青少年センター 9 階国際ホールにて  
参加者 (発表者・主催者含む) : 11 日 会場参加 20 名、オンライン参加 85 名  
12 日 会場参加 20 名、オンライン参加 65 名
- ・調査研究の成果報告の概要等は、成果発表会の当日資料として配付するとともに、「高木基金だより」に掲載し、ウェブサイトにも掲載した。
- ・助成の成果報告をまとめた「高木基金助成報告集」については、事務局の編集作業が遅れ、2011 年度から発行ができていない。それぞれの助成先ごとにウェブサイトに掲載していく方法を含め、早急に公開するよう努力する。

## (2) アジア枠助成 (詳細は p.2 を参照)

- ・第 20 期の助成として、2020 年 8 月 17 日~9 月 15 日に 19,000US ドル (200 万円相当) の予算で募集を行い、28 件 (全て調査研究)、総額 136,583 ドルの応募が寄せられた。アジア枠の助成 1 件あたりの上限額は従来通り 5,000 ドルとした。選考委員による書類選考を経て、12 月の理事会で 4 件 19,000 ドルの助成を決定した (会計上は、募集開始時の為替相場 (1 ドル=106.500 円) で換算し、2,023,500 円を計上した)。
- ・今期は、例年になく、原発・エネルギー問題に関連する応募が多く、国の政策や科学技術の負の側面に鋭く切り込む、あるいは影響住民に寄り添うなど、市民科学にふさわしい調査研究が多く見られた。最終的に決定した 4 件は、反原発運動から代替エネルギー事業への市民社会の展開を調べる調査 (インドネシア)、環境より経済を優先させたために形骸化されてしまった環境影響評価制度に対する市民の懸念や不安に応えるプラットフォーム作り (インド)、ウラン鉱山周辺で発生している住民の健康影響調査 (インド)、

原発による健康影響を訴える、ある当事者家族を事例に、自らの病気という「我が事」をいかに社会問題化し、反原発運動につなげてきたかについて明らかにする取り組み(韓国)という内容の調査研究となった。

#### 【第20期助成(アジア枠)の募集・助成結果】

募集	調査研究助成・研修奨励 …… 2020年8月17日～9月15日		
応募	応募件数	28件	応募総額 136,583ドル
	内 調査研究	28件	136,583ドル
	研修奨励	0件	0ドル
選考	2020年10月18日～11月9日に選考委員による書類選考を実施。 2020年12月1日の理事会で助成先4件を決定した。		
助成 決定	第20期助成		累 計
	アジア向け調査研究助成	4件 202万円	72件 3,207万円
	アジア向け研修奨励		4件 177万円
	合計	4件 202万円 (19,000ドル)	76件 3,384万円

#### (3) 市民社会創造ファンドからの「市民ファンド助成」の活用

- ・高木基金の助成事業のあり方を見直し、レベルアップを図るために、2019年度に、市民社会創造ファンドが実施する「第2期市民ファンド推進プログラム 2019年助成事業：市民ファンド/コミュニティ財団の「助成する力」を高める」に応募し、150万円の助成を受けた。助成期間は、2019年10月からの1年間で、高木基金の国内枠・アジア枠の助成について、以下の取り組みを行うこととした。
  - ・国内枠助成において、「市民科学」を志す大学生・大学院生などへの助成を積極的に推進するための「応募説明会」を実施する
  - ・国内枠助成先の助成期間中に、研究テーマに関する「研究交流会」を実施する
  - ・同じく助成先の研究について、関連する分野の専門家等を派遣する
  - ・国内枠、アジア枠の助成のあり方を見直すために、外部の専門家や関連する分野のNGOなどに意見を求める検討会等を実施する
- 取り組みの結果としては、2019年11月からの第19期国内枠助成募集において、「若手研究支援枠」を設置した上で、東北大学と東京大学において募集説明会を実施した。2020年4月以降は、決定した第19期助成先の内、若手研究支援枠の2件を含む4件について、それぞれの助成先に、高木基金の役員から2名ずつのアドバイザーを明確化し、助成先に対して、それぞれ2回、助成先とアドバイザーによるオンラインでの意見交換を実施した。
- ・このような取り組みは、他の助成団体等では、助成期間を通じた「伴走支援」と呼ばれており、特に高木基金においては、助成先の調査研究に関わる専門的なアドバイスや、助成先の調査研究内容を高木基金側が十分に理解するための場としても有効であることが実感できた。今後の助成においても、助成案件の内容に応じて、このようなアドバイザー体制を構築して、サポートをしていくことを検討していきたい。
- ・市民社会創造ファンドからの助成の一環として、国内枠、アジア枠の設立以来の助成先に対するアンケート調査を実施した。アジア枠の助成先に対しては、2020年7月にメールでアンケートの回答を依頼し、34団体、49人から回答があった。国内枠の助成先に対しては、2020年8月から9月にかけてアンケートを行い、60件の回答があった。それぞれのアンケートの回答内容等については、アジア枠については「高木基金だより」No.52に、国内枠についてはNo.53で報告を行った。

#### (4) 委託研究

- ・高木基金では、公募助成とは別に、高木基金の理事会が必要と判断した研究テーマについて、研究体制の構築等を含めて高木基金が関わりながら、研究資金を助成する取り組みを「委託研究」と位置づけて実施してきた。福島原発事故後の状況もふまえ、緊急に対応が必要な助成案件や、必要な委託研究の実施に備え、2020年度予算に50万円を計

上していた。

- ・2020年度は、以下の調査研究に50万円の委託研究費を支出した。  
＜受付番号：199-001＞『福島第一原子力発電所の事故原因と推移過程の詳細検証』  
委託先：もっかい事故調、田中三彦  
委託金額：500,000円 実施期間：2020年1月1日から2020年12月31日
- ・「柏崎刈羽原発の閉鎖を訴える科学者・技術者の会」（略称「柏崎刈羽・科学者の会」）  
「柏崎刈羽・科学者の会」は、2007年の新潟県中越沖地震で柏崎刈羽原発が被災した際、政府と東京電力が、十分な事故調査もしないまま柏崎刈羽原発7基すべての再稼働をすすめようとしたことを受け、井野博満氏、石橋克彦氏、田中三彦氏、山口幸夫氏の4名が呼びかけ人となって発足した。その際、高木基金は、委託研究として助成を実施した。2013年度以降、委託研究費としての支出は行っていないが、「柏崎刈羽・科学者の会」のメンバーは、引きつづき、原発に関わる技術的な問題等の検証・分析に取り組んでおり、「柏崎刈羽・科学者の会」としても、新潟県の技術委員会での動きを追いながら、ニューズレターの発行などの活動を継続している。高木基金としては、事務局長の菅波完が「柏崎刈羽・科学者の会」の事務局を担当し、会の活動を実質的に支援している。

#### (5) 原子力市民委員会

- ・高木基金の特別事業として2013年4月に発足した原子力市民委員会（CCNE）では、福島第一原発事故から10年目となる2021年3月に総合報告集『原発ゼロ社会への道』の発行を目指していたが、コロナ感染症対策により直接顔を合わせる委員会や公論形成のイベントは開催できず、報告集の編集作業も新年度にずれ込んでいる。
- ・一方、『原発ゼロ社会への道』の作成過程で、一般の市民に各章の要点やドラフト等の解説を行い、意見交換を行う「連続オンライン企画『原発ゼロ社会への道』」を3月から隔週で開始し、各回200名前後の参加者数を得ている（第1回「無責任の構造」(3/8)、第2回「原発事故の被害はなぜ見えにくくなったのか？」(3/22)開催）。
- ・2020年度も、福島第一原発敷地内で増え続けるALPS（多核種除去設備）処理汚染水の海洋放出を強引に進めようとする手続きが続けられ、原子力市民委員会は声明や記者会見（「東電福島第一原発の処理汚染水に関する声明～合意なき環境放出は将来に禍根を残す～」(4/24)、  
「声明：政府は福島第一原発ALPS処理汚染水を海洋放出してはならない。汚染水は陸上で長期にわたる責任ある管理・処分を行うべきである」(10/20)）を通じて問題提起・代替案を提示し続けるとともに、福島第一原発サイトの後始末の根本問題を問う「デブリ取り出しを前提とした廃炉ロードマップの虚構性を追求する連続ウェビナー」を3回シリーズで開催し、政府の場当たり的な「廃炉ロードマップ」に対する批判を行った（第1回「福島第一汚染水の海洋放出は避けられる一再考すべき現実的な選択肢」(10/22)、第2回「福島第一のデブリ取り出しは断念せよー「長期遮蔽管理」の提案」(10/29)、第3回「福島第一の「後始末」に必要なマネジメント体制はどうあるべきか？」(11/12)開催）
- ・「日本原燃（株）六ヶ所再処理事業の変更許可申請書に関する審査書（案）」(6/6)、「東京電力福島第一原子力発電所事故の調査・分析に係る中間取りまとめ（案）」(2/22)についてのパブリック・コメントの文例集を作成したほか、特別レポート6『原発を温存する新たな電力市場の問題点』(4/20)、特別レポート7『減容化施設と木質バイオマス発電ー肥大化する除染ビジネス、拡大するリスク』(7/20)を発行し、関連するウェビナー等を開催した。
- ・原発ゼロ社会へのエネルギーシナリオやロードマップについて議論する「原発ゼロ・再エネ100%オンラインワークショップ」(7/22)を開催し、オンラインセミナー「衝撃の容量市場結果ー再エネ新電力は生き残れるか」(10/15)を共催した。
- ・2020年度は原子力市民委員会の若手の事務局スタッフが中心となり、「原子力の“今”と“これから”を考える若者向けオンラインセミナー」（第1回「原発ゼロでエネルギーはまかなえるのか？」(10/17)、第2回「原発の「メリット」とされているものを考える：コストと気候変動」(10/24)、第3回「原発ゼロ後も残る課題：原発のごみ」(10/30)）や「映像から福島原発事故を考えるワークショップ」(3/12)を開催し、若者を対象とする参加や学びの機会を設けた。

## (6) 選考委員の一般公募

- ・高木基金では、2007年度以降、選考委員の交代・補充の際に、選考委員の公募を実施してきた。最近では2019年度に佐藤秀樹氏（江戸川大学社会学部専任講師）、玉山ともよ氏（有機農業、丹波篠山市原子力災害対策検討委員）の2名に選考委員を委嘱した。2020年度は新たな選考委員の委嘱などを行わなかった。

## (7) 会員・組織基盤拡大の取り組み

- ・2020年度の会員・支援者数の状況は次表の通りで、年間の支援者数は862名（前年比+70人）となった。2019年度の支援者数、支援金額が落ち込んでいたことから、「高木基金だより」などで支援の呼びかけを行ったことに、多くの方々が応えてくださった。特に、前年度に支援の無かった方からの「復活」の支援者数が216名となり、過去数年に比べても高い数値となったことは非常にありがたいことであった。
- ・会費・寄付合計額は3,190万円（同+1,273万円）で、大口寄付が大きく寄与するとともに、一般の方々からの支援も増加した。新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な社会課題に対して寄付が呼びかけられた状況の中で、定額給付金を高木基金に寄付して下さった方も複数おられた。
- ・ここ数年、支援者拡大の取り組みの一環として、「本棚お助け隊」および「ブックオフ」との提携による「古本募金」の協力を呼びかけているが、2020年度の1年間では、のべ50名の方から4,050点の書籍等が提供され、この内、1,893点が買い取られ（その他の2,157点は値段がつかず）、合計114,620円が高木基金への寄付となった。書籍等の買い取り単価は平均60円だったが、年間11万円を超える収入は貴重であり、今後も活用していきたい。
- ・支援者一人あたりの支援金額でも、2020年度は12,743円となり、過去数年との比較でも高い金額となった。古本募金などでの支援の広がりとともに、上記の定額給付金からの寄付など、まとまった金額で支援して下さる方が相当数おられることにことは、大変心強いことであり、心からお礼を申し上げます。

### 2015～2020年度の支援者数の推移

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	前年度比	備考
正会員	21人	22人	23人	24人	22人	<b>20人</b>	△2人	
維持会員	236人	248人	251人	222人	201人	<b>189人</b>	△12人	
賛助会員	244人	318人	308人	264人	232人	<b>222人</b>	△10人	
会員計	501人	588人	582人	510人	455人	<b>431人</b>	△24人	
寄付者	312人	364人	321人	396人	337人	<b>431人</b>	+94人	
支援者総数	813人	952人	903人	906人	792人	<b>862人</b>	+70人	
支援者の内訳*								
新規	106人	175人	141人	87人	54人	<b>52人</b>	△2人	
継続	548人	586人	607人	645人	602人	<b>594人</b>	△8人	
復活	159人	191人	155人	174人	136人	<b>216人</b>	+80人	

\* 内訳の「継続」は前年度も支援のあった方、「復活」は過去に支援の実績があり、前年度はなかった方。

### 2016～2020年度の会費・寄付の内訳（遺贈を除く）

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	前年比
支援合計 (千円)	30,769	23,737	18,509	19,167	<b>31,900</b> 千円	+12,733 千円
内 一般の会費・寄付(千円)	10,240	8,894	9,266	7,904	<b>10,627</b> 千円	+2,723 千円
[1人あたり(円)]	[10,882円]	[9,971円]	[10,307円]	[9,980円]	[12,473円]	[+2,493円]
内 大口の寄付 (千円)	20,529	14,843	9,243	11,263	<b>21,273</b> 千円	+10,010 千円

一人あたり50万円以上のご支援を「大口」、それ以外を「一般」として集計している。



- ・ニュースレター「高木基金だより」は、2020年度に3回発行した（No.51：4月30日、No.52：10月5日、No.53：2月15日）。発送部数は、それぞれ約3,800部で、高木基金の会員・寄付者に送付するとともに、高木基金の事務局と接点のあった研究者や市民活動の関係者などにも送付し、高木基金の活動への理解者を広げるよう努めた。また、全国のNPO支援センター等にも送付し、一般への閲覧用として活用いただいている。

#### (8) 2020年度決算について

- ・2020年度の収入は、前項に記載の通り、大口および一般からの支援が過去数年を大きく上回り、会費・寄付収入の総額は予算を190万円上回る3,190万円となった。ただし、支援の内訳として、原子力市民委員会への事業指定寄付が予算を579万円超過した状況であり、助成事業に充当できる会費・寄付としては予算を下回ったことが、最終的な当期の収支が△275万円となることにつながった。
- ・書籍販売収入は、原子力市民委員会の『原発ゼロ社会への道』や特別レポートなどの販売によるもので、2020年度に、新しい『原発ゼロ社会への道』を出版することを計画していたが、出版が2021年度に持ち越された。新型コロナウイルスの蔓延から、実際に人が集まるような意見交換会なども企画できず、販売促進の機会を作れなかったこともあり、書籍販売収入は12万円にとどまった。
- ・第20期の国内枠助成の募集を2021年4月以降に延期したため、2020年度の国内枠助成の予算1,000万円を、特別助成事業引当金として計上した。2021年度に助成募集・選考をすすめ、この引当金を取り崩すかたちで助成金の支出を行うこととした。
- ・前記の通り、2020年度の当期収支差額が△275万円となったことから、高木基金の基金残高に当たる正味財産は1,814万円に減少した。なお、第20期の国内枠助成金のための特別助成事業引当金1,000万円と、原子力市民委員会の事業のための長期事業引当金1,149万円は、正味財産とは別に確保している。

## 2. 2021年度事業計画及び収支予算

### (1) 助成事業（国内枠およびアジア枠）

#### 国内枠

- ・前記の通り、第20期の国内枠助成の募集を2021年4月以降に延期したため、2021年度に第20期の助成募集・選考を行う。具体的には、5月7日までを応募期限として、6月末までに書類選考を行い、7月25日に公開プレゼンテーションを開催し、そこでの議論を踏まえたうえで最終的に助成先を決定する。このような助成スケジュールの変更にともない、助成対象とする調査研究の実施期間が2021年8月からの1年間となり、この助成に関する成果発表会は、2022年秋の予定となる。
- ・第19期（2020年度）助成の成果発表会は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、助成先の調査研究にも遅れが生じていることも考慮し、2021年9月頃に実施する。これについては、2020年に実施した成果発表会同様、オンライン参加と会場参加を併用するかたちで実施したい。
- ・2011年度から発行が遅れている助成報告集の発行を急ぐ。

#### アジア枠

- ・今年度のアジア枠助成については、2020年度と同様、1件あたりの助成金額を5,000ドル、助成募集総額は200万円相当としたい。助成時期・募集方法についても、従来と同様としたい。
- ・アジアの国々で原発に懸念や反対を表明する市民社会組織と連帯し、福島原発事故の教訓および助成先の調査研究の成果や関連する情報などについて、英語による発信を強化していきたい。具体的には、助成先（過去の助成先も含む）へのメール連絡などで、定期的なコミュニケーションに努めるほか、ウェブサイトやFacebook、InstagramなどのSNSによる情報発信にも力を入れていきたい。
- ・昨年度実施したアジア助成先アンケート（市民社会創造ファンドの助成）の結果から、引き続き、従来のアジア枠助成のあり方について必要な見直しを検討していきたい。

## 国内枠・アジア枠共通

- ・上記の公募枠とは別に、緊急的な助成および委託研究に備えるための予算枠として、50万円を計上する。
- ・2021年9月に、高木基金の法人設立から20周年を迎えるが、従来から取り組んできた助成事業のあり方を見直し、高木基金として、どのように「市民科学」を実践し、次の世代の「市民科学者」を支援していくべきか、原点に立ち返って検討する。

助成分類	2021年度予算	備考
国内枠 調査研究助成（含む若手支援枠）	1,000万円	特別助成事業引当金からの取崩し収入を充当する
アジア枠 調査研究助成・研修奨励	200万円	前年同額
委託研究・緊急対応予算枠	50万円	
合計	1,250万円	

## (2) 原子力市民委員会

- ・特別事業「原子力市民委員会」は発足から9年目となる。今年度も特別事業としての助成を実施しつつ、10年目以降の事業について、具体的な検討を始めていく。
- ・今年度は、福島第一原発事故から10年目に発行予定の『原発ゼロ社会への道』を公表するとともに、作成過程に公論形成として開催中の「連続オンライン企画」を発展させ、継続していく。
- ・原子力政策や復興政策が抱える諸問題について、委員会として引き続き、声明・意見書等の発表を行う。また、緊急的な取り組みが必要な課題に対応する。
- ・特別レポートや講演録など、随時発行するとともに、ブログ記事の掲載の他、過去に発出した声明等の翻訳を進め、海外向けの発信も強化していく。
- ・新型コロナウイルスの影響により、オンラインでの活動が中心とならざるを得ないが、効果的に情報発信ができるよう、ウェブやSNSの活用を強化する。

## (3) 選考委員の一般公募

- ・選考委員の一般公募は、2007年度以降、必要に応じて実施し、高木基金の選考および組織運営の活性化に寄与してきた。選考委員は、最長3期6年で交代としていることもあり、今後の高木基金の事業のあり方に関する議論にあわせ、理事会における新たな選考委員の委嘱と選考委員の公募の両面について、理事会で検討の上、対応していくこととしたい。

## (4) 会員・組織基盤の拡大とそのため広報の強化

- ・東日本大震災・福島原発事故が発生した2011年度以降、高木基金では、原子力市民委員会など、積極的に事業を拡大してきたが、収入面では、大口の寄付に支えられる部分が大きくなってきた。これは非常にありがたいことでもある一方で、大口の寄付は、収入の計画が立てにくく、持続的な活動基盤を確立するために、継続的に支援して下さる会員や一般の支援者の拡大を目指していく。
- ・引き続き、ニュースレター「基金だより」については、助成先の活動状況の紹介など、内容を充実させ、高木基金の活動を広く伝えるツールとして、活用を強化していく。そのためにも、「基金だより」や高木基金の団体案内パンフレットが、多くの方の目に触れるような広報拠点を拡大する取り組みもすすめていく。
- ・2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、必要に迫られるかたちで、オンラインでの情報発信の機会が増えた。今後は、助成先の成果発表会等でも、これらを有効に活用するとともに、高木基金の理解者・支援者の拡大にもつなげられるように工夫していきたい。

(5) 2021 年度予算 (詳細は p.12 を参照)

- 2021 年度の助成予算は、国内枠・アジア枠助成と、委託研究費・緊急対応の助成予算をあわせて 1,250 万円を計上した。ただし、第 20 期国内枠助成の助成金支出は、2020 年度に計上した特別助成事業引当金からの取り崩し収入を充当する。
- 原子力市民委員会については、発足当初から長期事業計画を作成してきたが、2020 年度までの収支実績を元に、別表(p.6-7)の通り、活動開始から 10 年後となる 2022 年度までの長期計画を見直した。2021 年度の事業指定寄付の目標は 300 万円 (2020 年度予算比△100 万円) とした。原子力市民委員会としての事業費は、1,099 万円 (人件費 580 万円を含む) としたい。
- 全体の収入としては、会費・寄付の合計を 2,300 万円とした。上記の助成事業および原子力市民委員会事業の収支を見込んだ全体の収支は、+30 万円となり、基金残高に相当する正味財産は 1,844 万円となる。2021 年度に、高木基金としての今後の事業のあり方を検討する中で、持続可能な運営体制を構築するための基盤強化に取り組んでいきたい。

以 上